

# 産業建設常任委員長報告

令和3年3月19日

産業建設常任委員会が、閉会中も継続して調査活動を行うこととして付託を受けております「国県道の総合的な整備促進、高速道及びアクセス道路の早期整備、並びに三市町村議会国道整備促進合同協議会への対応」について、その概要をご報告申し上げます。

まず、昨年4月8日に西米良村において「三市町村議会国道整備促進合同協議会委員長会」が開催され、国道219号の現地調査、国・県への提言活動等の年間事業計画等について協議を行い、5月1日の産業建設常任委員会において、その結果等を委員各位に報告したところであります。

続きまして、5月14日に同協議会として議長及び産業建設常任委員をもって現地調査を行う予定でありましたが、宮崎県及び熊本県内で新型コロナウイルス感染者が確認されていたことから、まん延防止のため延期となったところであります。

次に、5月26日に西都市議会として同委員会正副委員長2名をもって、西都土木事務所へ表敬訪問を行いました。

次に、延期となっておりました現地調査を7月9日に実施する予定でありましたが、同月4日の大雨の影響により西米良村を通る国道219号

が2カ所で寸断される被害が発生したことから、中止となったところ  
あります。

次に、7月に同協議会の役員をもって、国土交通省九州地方整備局、国  
土交通省道路局、県選出国會議員に対し要望活動を行う予定でありまし  
たが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったところ  
あります。

また、同月に同協議会の定期総会を開催する予定でありましたが、同  
様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となり、12  
月に書面会議を行ったところあります。この書面会議により、令和元  
年度の事業経過、収支決算報告及び令和2年度事業計画、予算が全会一  
致で承認されました。

次に、12月21日に熊本県湯前町を除く同協議会の役員をもって宮崎県  
及び宮崎県議会に対し、「一般国道219号の整備促進」及び「道路整備  
促進のための予算確保」に関する提言・要望活動を行い、次のような回  
答を得たところあります。

まず、県土整備部長からは、「<sup>こしのお</sup>越野尾工区については、地元の協力を  
経て用地買収はすべて完了している。令和4年度中の完成・供用を目指  
して参りたい。

次に、<sup>こしのおにのと</sup>越野尾二之渡工区については、今年度1.2kmに渡り新規事業と

して着手した。現在、測量・設計を進めているところである。

次に、岩下工区については、今年度岩下橋の西都市側 200m を新たに供用したところである。トンネル区間については 12 月 12 日に安全祈願祭が行われ、本体工事に着手した。その他、迂回路部分に必要な仮橋設置も合わせて進めており、令和 4 年度中の開通を目指して参りたい。

最後に、皆さま方の後押しもあって国土強靱化対策については、防災減災国土強靱化のための 5 年加速化対策という形で閣議決定され、第三次補正予算の概要も示された。国道 219 号整備についても更に加速させることができるのではと思っている。予算確保に全力で取り組んでいきたいと考えているので、引き続きご支援・ご協力をお願いしたい」とのことでありました。

次に、県議会議長からは「今後 20 年先を見据えた計画を本県としても取り組むべきとの認識のもと、国道 219 号の西都インターから人吉インターまでを重要な物流道路として確実なものとしてやっていかないとけない。我々県議会としても努力を重ねていき、本県として国交省の方にも熱い思いを伝えていきたいと思う」とのことでありました。

今年度はコロナ禍の活動となりましたが、国県道、高速道及びアクセス道路等の整備については、地方にとって道路は地域の自立、経済の維持・発展を図る上で特に重要であり、豊かな生活の実現と均衡のとれた

国土の発展、活力ある地域づくりを図るため、更には、防災上及び災害時に果たす道路の役割を再認識し、住民の強い期待に応えていくためにも、今後も継続的に関係機関への要望活動を実施していく必要性を強く感じたところであります。

以上で報告を終わります。